

パス テル

No.133

2025
春号

Interview

放送作家

野々村 友紀子 さん

特集

「エセナおおた」リニューアル
大田区における
男女共同参画の歩み

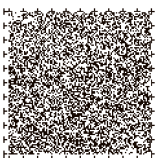
Pastel Report vol.01

M字カーブって知ってる？

じゃあ、L字カーブは？



認め合うことから生まれる、やさしい強さ



このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」です。コードの位置を示す切り込みを入れています。専用の読み上げ装置で読み取ると、記載内容を聞くことができます。

野々村さんの力強い発信力は、幼少期どのように形づくられたのでしょうか。

こどもの頃は今とは真逆のすごく人見知りな子で、コミュニケーションをとるのが苦手でした。

親にはたくさんさんの習い事をさせてもらいましたが、それを人前で披露する心の強さはなかったです。人に合わせて、自分の意見をあまり言わないタイプでした。

「これじゃあかん」と思うようになったのは、中学生の頃。一人っ子で母親から「二人で強く生きなあかんよ」と言われていました。何でも言ってくれる友達の存在も大きかったです。だんだん周りのことも考えながら自分の意見を言えるようになり、失敗を乗り越えながらやさしい強さにたどり着いたのだと思います。

Interview

放送作家

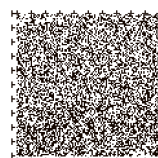
野々村 友紀子 さん

Nonomura Yukiko

Profile

昭和49年生まれ、大阪府出身の放送作家。芸人として活動後、放送作家へ転身。その後、お笑いコンビ2丁拳銃の修士さんと結婚。吉本総合芸能学院(NSC)東京校の講師を勤める。著書・脚本等の作家業に加え、メディアへの出演も多く、多方面で活躍中。

認め合うことから
生まれる、
やさしい強さ



働く中で感じた大変さや変化はありますか。

幼馴染と一緒に吉本に入り、漫才を始めました。母親は、合わなかったらやめたらいい、経験することが大事なのだからと私の「やってみたい気持ち」をいつも応援してくれました。当時、女性芸人という言葉すらなく、お笑い界は男性社会の時代でした。そんな中でも観客を笑わせて「女に何ができる

の？」という空気をひっくり返すのが喜びでしたね。

コンビ解散後は、一度お笑いにまったく関係のない会社員を経験しましたが、やはりお笑いに携わりたいたいという気持ちが消えず、放送作家に転身しました。その後、平成14年に結婚して、夫の都合で生活の場を東京に移しました。ようやく大阪で仕事に軌道に乗ってきたタイミングだったので、「自分の意思とは関係なく生きる場所を変えるのが女!？」と当時はモヤモヤしましたね。一方で「家事に子育て、仕事：私にはとても無理!」と実感し、仕事をセーブしました。夫も忙しく遠方の実家には頼れない分、たくさんママ友をつくって行政のサービスにもお世話になりました。子育ての交流会などはとても息抜きになったし、気の場合ママ友にも出会えました。そして、上

の子が小学校に入学するタイミングでママ友の言葉に背中を押してもらい、平成24年、「笑っていいとも!」の作家として復帰しました。

当時のテレビ業界全体の傾向として、企画会議の出席者20〜30人のうち女性は一人もいなかったり、いたとしても少数で女性の発言機会は少なく「女性から見よう?」という質問しか来なかったりすることも。対等に話せるよう自分なりに勉強しました。会議の時間も遅く帰れないことが当たり前で、男女関係なく労働環境としては厳しいものでした。

今では女性の作家やカメラマンが増え、女性ばかりの現場もあるほどです。労働環境が変わってきて、誰もが意見を言いやすく、休みも取りやすいと感じています。NSCで講師として指導にあたっていますが、「表



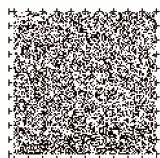
現」についてはとても意識しています。世の中も変化してきているので、昔はOKだったことも今ではNGです。ちよつと「ん?」と思う発言があると、お客さんがネタに集中できなくなり、純粹に笑えなくなりますから。加減は難しいですが、気を付けています。

家事・育児など家庭で大切にしていることはありますか。

夫婦仲は良い方だと思うのですが、今までで一番揉めたのは家事のことでした。

夫の「やっているつもり」のギャップを埋めるために家事をリスト化してみると、夫のしていた家事が148項目中8個しかなかったんです。現実が見えて、夫が細かい家事もしてくれるようになりました。前は「ちよつとやってよ」が言えずに「ギスギスしてしまい、こどもにもそれが伝わって悪循環でした。家族が仲良く過ごすためにも家事のシェアは重要です。うちのパパ、家事もやるし大好き」って私もこどももほめるんです。パパの地位も向上します。

それから自分をほめることも大切です。できなかったことではなく、できたことに着目して、一日の最後もしっかり自分自身の頑張りを認めるようにしています。



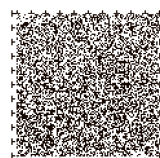
※このインタビューは、令和7年1月29日に行いました。

特集 — 「エセナおおた」リニューアル

大田区における男女共同参画の歩み



©大田区



「エセナおおた」と男女共同参画の歴史

皆さんは、男女平等推進センター「エセナおおた」に行ったことはありませんか。「エセナおおた」は、令和6年12月に大森北四丁目複合施設「スマイル大森」内へ移転し、リニューアルオープンしました。今回は、「エセナおおた」とともに、大田区の男女共同参画の歴史を

振り返ってみましょう。

さかのぼること約80年、戦後、日本国憲法で男女平等が明記され、昭和21年に初めて女性による投票が行われました。昭和45年頃になると世界中で女性の地位向上を目指す動きが広がり、大田区においても、昭和52年に「婦人会館」が開館しました。これが「エセナおおた」の前身です。昭和56年、国際的に女性差別

撤廃条約が発効となった頃、大田区では、婦人問題解決のためのプロジェクトチームが編成され、昭和59年に「婦人問題解決のための大田区行動計画（現在の「大田区男女共同参画推進プランの前身）」が策定されました。昭和60年に男女雇用機会均等法が成立し、同年、大田区では、「色あざやかに生きる女性のための情報誌『パステル』（本誌）」が

創刊されました。

時代の流れとともに、「婦人会館」の名称は、平成4年に「おおた女性センター」へ、さらに平成12年に「男女平等推進センター」「エセナおおた」へと変わりました。「エセナおおた」という愛称とシンボルマークは、一般公募によって決定しました。「エセナ」は、スペイン語で「ステージ、場、場面」という意味があり、「エセナおお



(右)昭和60年発行
パステル創刊号

(左)昭和61年発行
パステル2号



「た」は、誰もが自由に活動できる場で、一人ひとりが主役として輝くという願いが込められています。また、シンボルマークは、男女が仲良く肩をならべている様子を描いており、性別にとらわれず、ともに歩んでいくという願いが込められています。



男女共同参画意識の広がりの実態

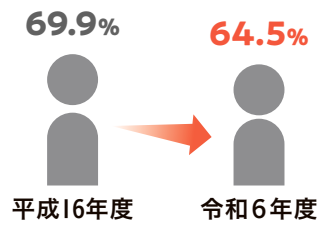
大田区では、男女共同参画社会の実現に向けて、様々な事業を実施してきましたが、区民の意識はどのように変わったでしょうか。20年前の意識調査と比較すると、「職場での男女差別はない」と思う割合が23・5ポイント増加し、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考えに同感しない割合が25・1ポイント増加してい

ます(図1)。しかし、実際の家事・育児の分担は「女性である」割合は5・4ポイントの微減となっており、男女共同参画意識は向上しているものの、実際の家事分担との間にギャップがあることがわかります。家事・育児に関して、依然として女性への負担が大きいと考えられます(図2)。

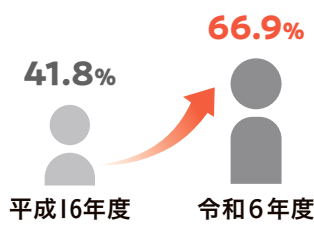
男女共同参画のこれから

令和7年度、大田区では、男女共同参画推進プランを見直し、ジェンダー平等や多様性に配慮した第9期プランの策定を行います。また、「エセナおおた」では、男女共同参画の拠点施設として、時代のニーズに合わせた講座や展示を実施していきます。気軽に立ち寄れるカフェや図書コーナーもありますので、新しい「エセナおおた」へぜひお越しください。

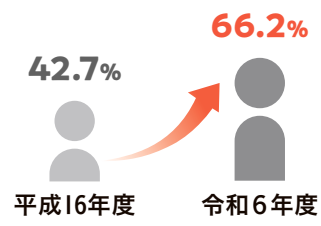
実際の家事・育児の分担は女性である(※3、※4)



「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考えに同感しない(※2)

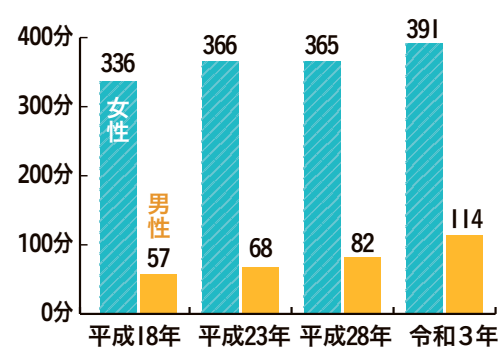


「職場での男女差別はない」と思う



(図1) 世論調査から見る20年の変化(※1)

- ※1 「大田区男女共同参画に関する意識調査報告書」より作成。
- ※2 「同意しない」には「どちらかというと同意しない」を含む。
- ※3 「家事」は「料理、洗濯、掃除」を示す。
- ※4 「女性である」は、「主に女性」及び「どちらか」という女性の合計。
- ※5 内閣府「男女共同参画白書 令和5年版」参照。6歳未満の子供を持つ妻・夫の家事関連時間。



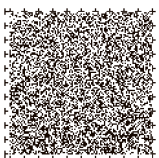
(図2) 共働き世帯の家事関連時間の推移(※5)

Special Interview

エセナおおた センター長 ひがし かおり 東 香織さん

私はもともとエセナで開催されていた講座の参加者でしたが、ご縁があってエセナの運営に携わるようになり、平成27年4月からセンター長となりました。ジェンダーの問題は私たちの生活全般にかかわることなので区民の皆さんに自分事として捉えてもらえるような工夫を常に考えています。男女共同参画やジェンダー平

等について深く学びたい人はもちろんのこと、ふらっと気軽に立ち寄れる場でもありたいです。5階のフリースペースでは、食事や雑談ができますし、小学生は宿題をしたり、ゲームをしたりして自由に過ごせます。周囲にある展示や本に触れたり、職員と気軽に話したりしながら、自然と情報を得られる場づくりを心掛けています。



みなさんに聞きました！

M字カーブ
って知ってる？

じゃあ、L字カーブは？



今回の取材先は…

エセナおおた

講座やイベントなどでエセナおおたを訪れた皆さんにアンケートに参加していただきました。

M字カーブとは、女性の労働力率が、結婚・出産期にあたる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、「M字」を描くことが由来です。L字カーブとは、年齢で見た女性の正規雇用比率の線グラフのことで、「L字」のようなカーブに見えることが由来です。

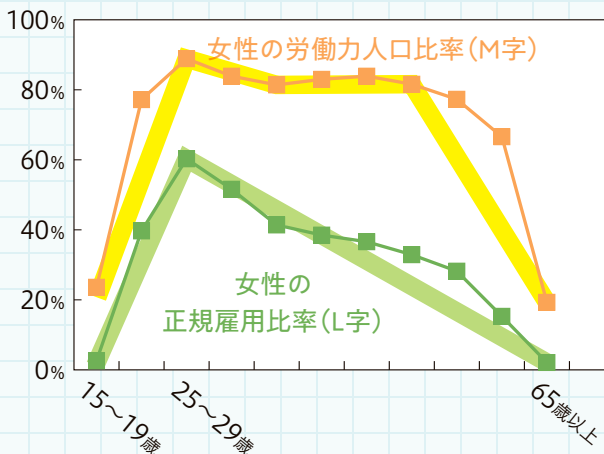
近年、M字の谷の部分が進んで、なってきたとされており、結婚出産を経ても働き続ける女性が多いことが示されています。しかし、L字カーブを見ると、20代後半までは正社員（正職員）が中心であるものの、30代以降はパートタイマーや派遣社員などの非正規雇用で働く人が中心になっているという現状が示されています。

※労働力率…15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合

回答結果

女性の年齢階級別労働力人口比率と正規雇用比率

（資料）総務省「労働力調査（基本集計）」2024年（令和6年）平均結果（全国）



回答者数 **51** 人

どちらも知らない	M字カーブは知っている	どちらも知っている
 31	 8	 12

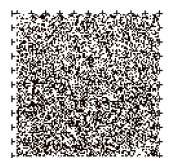
M字カーブもL字カーブも知らない人が多数！
L字カーブは知らないけれどM字カーブは知っているという人も！

こんな意見が出ました！

今、正規雇用じゃないシニア世代はまさにMの谷の世代を生きていた人たち。もう20年くらい経てばL字も変わるかも。

子どもができて退職したら正規雇用で戻って来れないかもという不安が、少子化の原因の1つかもしれないように感じます。

言葉は知りませんでしたが答えを見ると納得。その現状は知っていました。



▶ 育児・介護休業法が改正されました

育児・介護休業法とは、従業員が男女ともに育児や介護と仕事を両立できるようにするための法律です。育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための雇用環境整備、個別周知・意向確認の義務化などの改正が行われ、令和7年4月1日から段階的に施行されます。

主な改正ポイント

- 子の看護休暇の見直し(対象範囲は小学校3年生修了まで、取得事由は感染に伴う学級閉鎖や入園式・卒園式まで拡大)
- 所定外労働の制限(残業免除)の対象拡大
- 育児のためのテレワーク導入の努力義務化
- 育児休業の取得状況の公表義務拡大
- 介護離職防止のための仕事と介護の両立支援制度の強化 等

育児休業制度特設サイト



▶ 「TEAM家事・育児」に家事・育児に役立つ様々な情報が掲載されています

東京都では、Webサイト「TEAM家事・育児」を通じて、家事・育児を「TEAM」として考え変えていくため、様々な情報やアドバイスを発信しています。子育て中の夫婦や経営者層など、誰もが主体的に家事・育児に向き合える環境を広げるための情報が満載です。



ウェブサイトはこちら



▶ 企業向けワーク・ライフ・バランスセミナーを開催しました

大田区で、社会保険労務士の矢野涼子さんを講師に招き、「育児・介護休業法の改正」をテーマとしたセミナーを令和7年1月に開催しました。法改正を通して企業で整えるべき制度と取り組み、対応すべき変更ポイント等を学びました。



セミナーの様子



▶ 本誌「パステル」をリニューアルしました

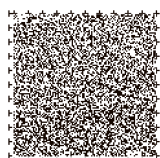
大田区男女共同参画のための情報誌「パステル」は、今回よりデザインをリニューアルしました。新たな「パステル」をご覧くださいとともに、これまでの「パステル」もぜひご覧ください。



バックナンバーはこちら



リニューアル前の表紙 ▶



Let's go!

エセナおおた

エセナおおたは、
男女共同参画社会の実現を目指す活動拠点施設です。
講座・講演会の開催、情報収集・発信、
交流の場の提供などを行っています。

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」
〒143-0016 大田区大森北4-6-7
大森北四丁目複合施設(スマイル大森) 5階・6階
TEL:03-3766-4586 FAX:03-5764-0604



二次元コードから
アクセス



JR大森駅東口より徒歩6分。
一般用の駐車場はありません。

Event Report

講演会を開催しました(令和6年11月)

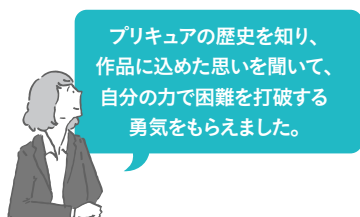
エセナフォーラム2024講演会

講師: 鷲尾 天さん
インタビュアー: 河野 真太郎さん

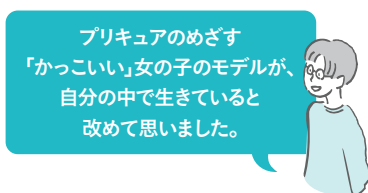
TVアニメシリーズ「プリキュア」の初代プロデューサーであり、現在も企画に携わる鷲尾天さんの講演やアニメ作品の上映、鷲尾天さんと専修大学教授の河野真太郎さんによる対談。プリキュアを通して子どもたちに伝えたいこと、時代の変化に対応して工夫してきたことなどをお話いただきました。7歳〜80代の幅広い世代の参加がありました。



©ABC-A・東映アニメーション
©東映アニメーション



プリキュアの歴史を知り、
作品に込めた思いを聞いて、
自分の力で困難を打破する
勇気をもらえました。



プリキュアのめざす
「カッコいい」女の子のモデルが、
自分の中で生きていると
改めて思いました。

エセナおおたをぜひご利用ください

談話コーナーで読書
や会話を楽しんだり、
学習室や多目的ルー
ムを借りたり、さま
ざまな用途でご利用
いただけます。館内
のカフェにはコーヒ
ーや軽食もあります。



カフェおひさま



学習室での活動の様子



相談窓口のご案内

相談無料、秘密厳守

相談内容	TEL	相談日時	
女性のための たんぽぽ相談	03-3766-6581	月・金……………10:00 ~ 13:00 火・木……………13:00 ~ 16:00 水……………18:00 ~ 21:00 土……………13:00 ~ 19:00 (年末年始を除く) ※相談受付は終了時間の30分前まで	詳細内容は 二次元コードから アクセス 
DV相談ダイヤル	03-6423-0502	月〜金……………9:00 ~ 17:00 (祝日・年末年始を除く)	詳細内容は 二次元コードから アクセス 
男性相談ダイヤル	03-6404-6020	第2・4金曜日 17:00 ~ 20:00 (祝日・年末年始を除く) ※相談受付は終了時間の30分前まで	

※臨時休業や時間変更など最新情報は、大田区ホームページでご確認ください。

編集・発行／
大田区 総務部 人権・男女平等推進課
〒144-8621 大田区蒲田5-13-14
TEL:03-5744-1610 FAX:03-5744-1556
令和7年3月発行



過去のバックナンバーは
大田区ホームページに掲載しています。
ご意見・ご感想もこちらの
ホームページからご入力いただけます。

